

セットアップガイド
～ライセンスマネージャ編～
2021年2月10日版

JIP テクノサイエンス株式会社

<目 次>

1. はじめに.....	1
2. セットアップ作業を始める前に.....	1
3. 運用環境.....	1
3.1 ネットワーク運用.....	1
3.2 スタンドアロン運用.....	1
4. ライセンスマネージャ.....	2
4.1 インストール.....	2
4.2 アンインストール.....	4
5. 参考.....	5
5.1 ライセンスマネージャ(サービス).....	5
5.1.1 起動の確認方法.....	5
5.1.2 再起動の方法.....	6
5.2 Windows Defenderファイアウォール.....	7

お問い合わせ

弊社ホームページに「お問い合わせフォーム」をご用意しております。

お気軽にお問い合わせください。

◆技術的なお問い合わせ

<https://www.jip-ts.co.jp/contact/support.html>



1. はじめに

このセットアップガイドは、ライセンスマネージャのインストール・アンインストール方法を記したマニュアルです。

2. セットアップ作業を始める前に

- ・実行しているアプリケーションはすべて終了してください。
- ・ネットワーク運用でライセンスサーバの場合、またはスタンドアロン運用の場合には、パソコンにプロテクトキーが正しく接続されていることを確認してください。
- ・作業を行う場合は、必ず「**管理者権限**」で行ってください。

3. 運用環境

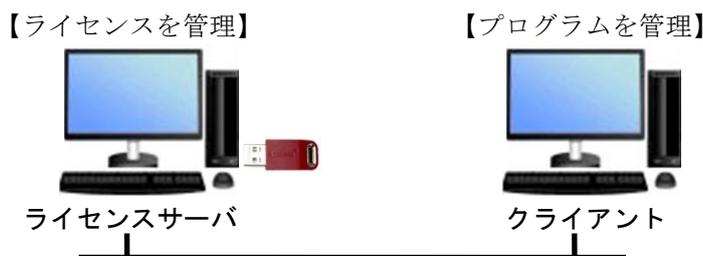
運用環境には、ネットワーク運用とスタンドアロン運用の2つがあります。

運用の切り替え方法については、セットアップガイドの「JSP ユーティリティ編」を参照してください。

3.1 ネットワーク運用

ネットワーク運用とは、ネットワークを使用して、複数のパソコンで運用する方法です。

※ネットワークで運用する場合、事業所内に限ります。事業所間をまたがった使用はできません。



■ ライセンスサーバ

ライセンスを管理するパソコンを**ライセンスサーバ**と呼びます。

ライセンスサーバでは実際にキーを接続するだけでなく、ライセンスサーバ上でクライアントと通信を行い、ライセンスの管理を行う**ライセンスマネージャ**を実行します(ライセンスマネージャが起動していないとプログラムを起動することができません)。

※ライセンスサーバはネットワークサーバである必要はありません。

■ クライアント

プログラムをインストールし運用するパソコンを**クライアント**と呼びます。

3.2 スタンドアロン運用

スタンドアロン運用とは、ネットワークを使用せず、パソコン単体で運用する方法です。

【ライセンス&プログラムを管理】



4. ライセンスマネージャ

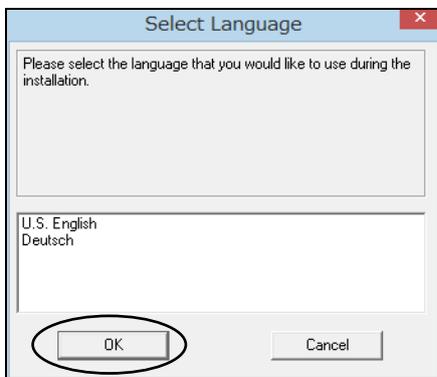
ネットワーク運用を行う際、プログラムと通信を行い、ライセンスの管理を行うライセンスマネージャをインストールします。通常 1 回だけインストール作業を行います。

◆運用環境によるインストールの必要有無

運用環境	対象パソコン	インストール有無
ネットワーク運用	ライセンスサーバ	有
	クライアント	無
スタンドアロン運用	単体で運用するパソコン	無

ライセンスマネージャのインストール後、引き続き HASP ドライバ (Ver4.95) のインストールも行うことができますが、**インストールせず終了し、弊社が推奨するドライバをインストール**してください。インストール方法は、セットアップガイドの「ドライバ編」を参照してください。

4.1 インストール



①.

インストール時に使用したい言語を選択し、「OK」ボタンを押してください。

- ・「U.S.English」 英語
- ・「Deutsch」 ドイツ語



②.

ライセンスマネージャ (Ver8.20) をインストールします。「Next>」ボタンを押してください。

既にライセンスマネージャがインストールされている場合には、「Cancel」ボタンを押してインストール作業を終了してください。



③.

インストールタイプは「Service (nhsrvce.exe)」を選択し、「Next>」ボタンを押してください。

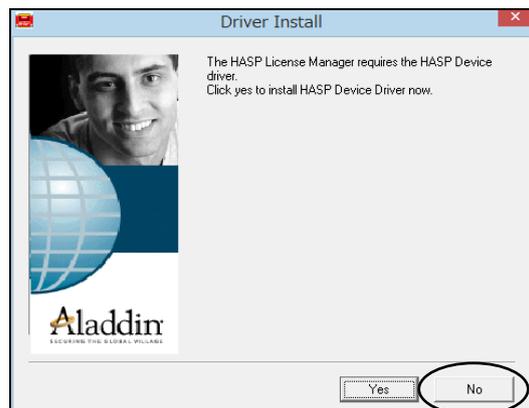
CHECK

ライセンスマネージャをサービスとしてインストールします。



④.

「Next>」ボタンを押してください。



⑤.

ここでは、「No」ボタンを押して終了し、弊社が推奨するドライバをインストールしてください。

 CHECK

ドライバのインストール方法については、セットアップガイドの「ドライバ編」を参照してください。



⑥.

インストールしたライセンスマネージャを直ちに起動させる場合は「Yes」ボタンを、後で起動させる場合は「No」ボタンを押してください。



⑦.

インストールは完了しました。「Finish」ボタンを押して終了してください。

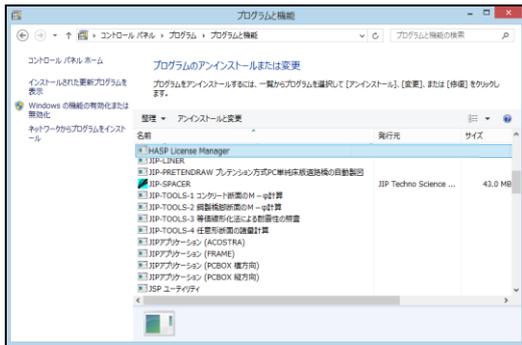
4.2 アンインストール

ライセンスマネージャをアンインストールする場合、以下の手順で行ってください。



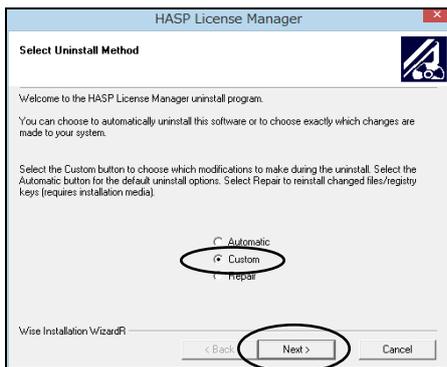
①.

[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を選択してください。



②.

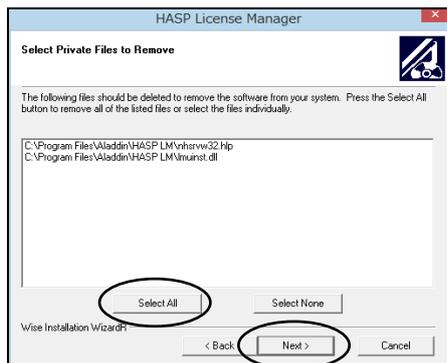
「HASP License Manager」を選択し、「アンインストールと変更」ボタンを押してください。



③.

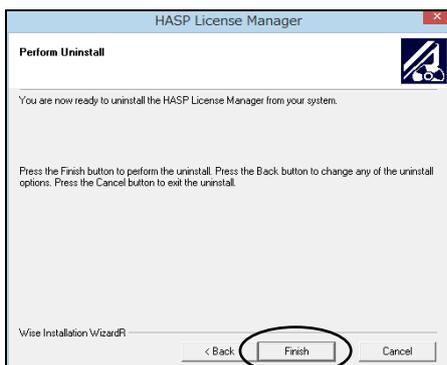
アンインストール方法を選択し、「Next」ボタンを押してください。
問題が無い場合は、「Custom」を選択してください。

- ・「Automatic」
- ・「Custom」
- ・「Repair」



④.

アンインストールを行うファイルを指定します。
「Select All」ボタンを押し、「Next」ボタンを押してください。



⑤.

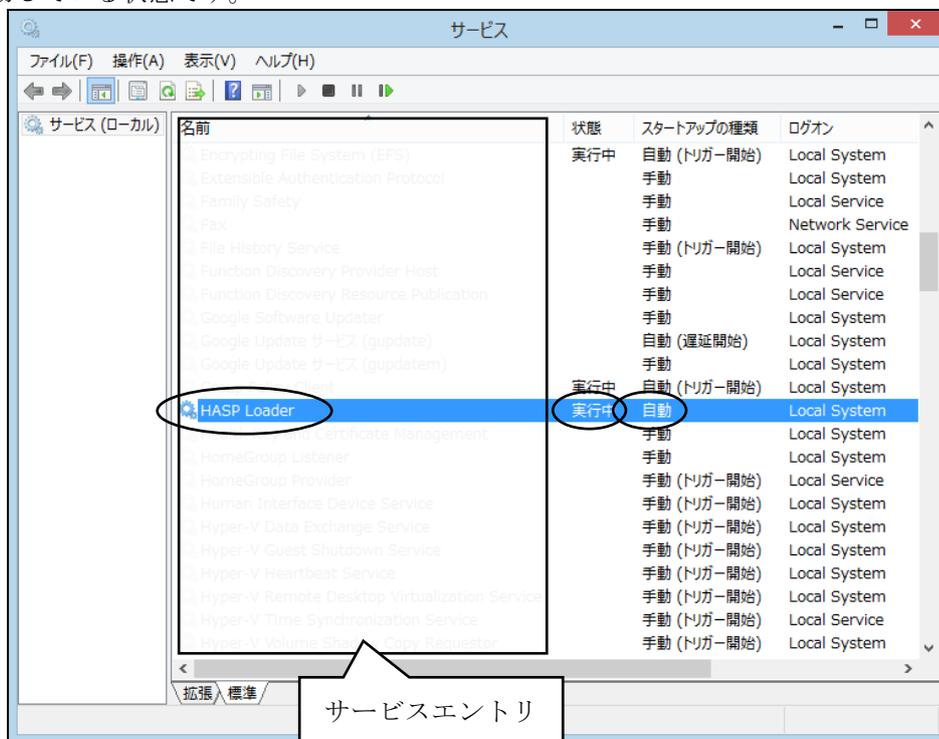
アンインストールは完了しました。
「Finish」ボタンを押して終了してください。

5. 参考

5.1 ライセンスマネージャ (サービス)

5.1.1 起動の確認方法

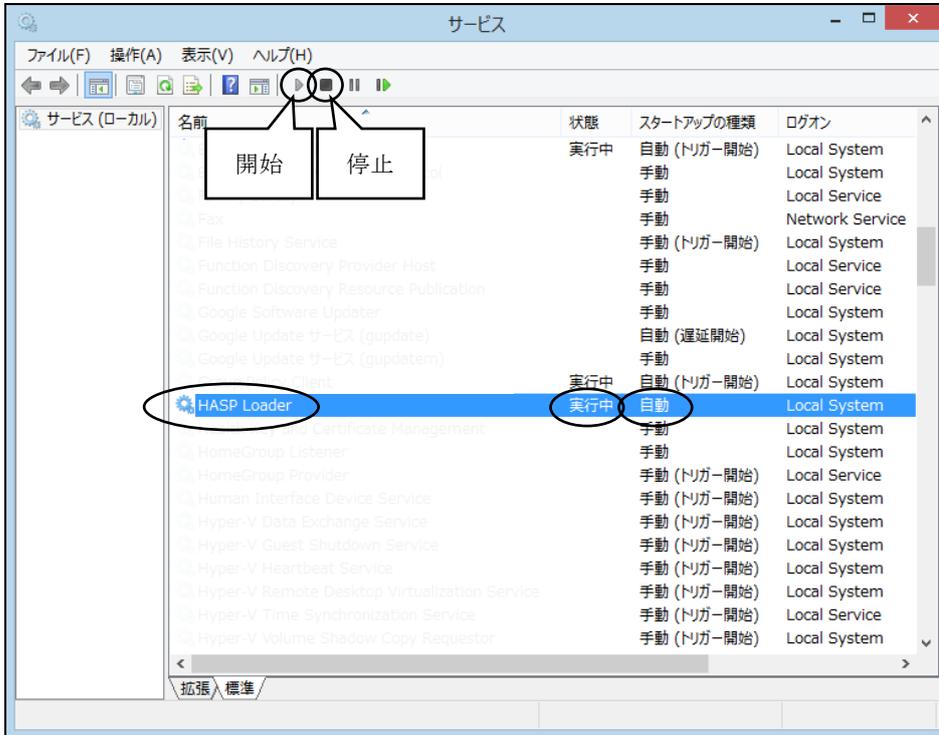
[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]を起動し、サービスエントリの中に表示されている「HASP Loder」の状態が「実行中」となっている場合は、ライセンスマネージャがサービスとして起動している状態です。



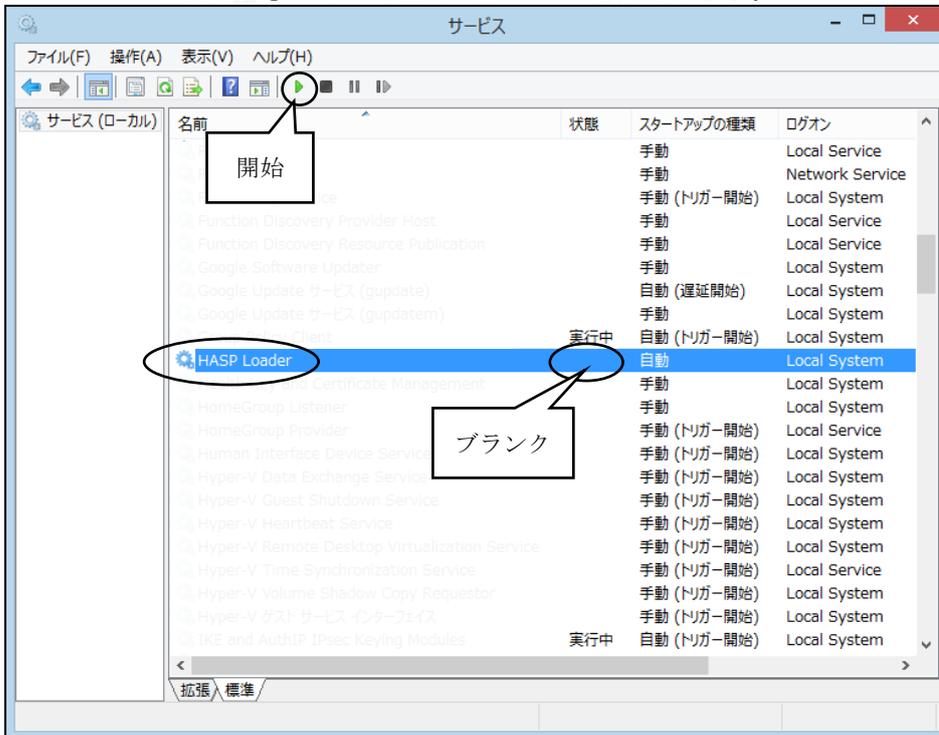
5.1.2 再起動の方法

ライセンスマネージャのサービスを再起動する場合、以下の手順で行ってください。

- ① [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]を起動します。
- ② サービスエントリの中から「HASP Loder」を選択します。
- ③ 状態が「実行中」になっていることを確認します。



- ④ ツールバーの「停止 (■)」ボタンを押してサービスを停止します。
- ⑤ 状態が「停止」 (=ブランク) になっていることを確認します。
- ⑥ ツールバーの「開始 (▶)」ボタンを押してサービスを開始します。

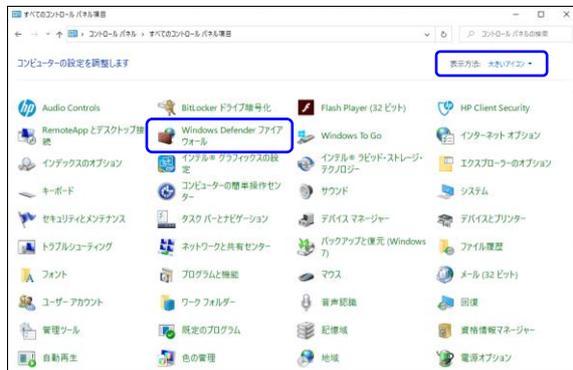


- ⑦ 状態が「実行中」になっていることを確認します。

5.2 Windows Defender ファイアウォール

Windows Defender ファイアウォール機能によりプロテクトキーとの通信が遮断され、弊社ソフトウェアが起動できない場合があります。その場合には、ライセンスマネージャが使用する通信ポート(475番)を使用可能にする設定を行うことでプロテクトキーとの通信ができるようになります。

Windows Defender ファイアウォールに通信ポートを追加する場合、以下の手順で行ってください。

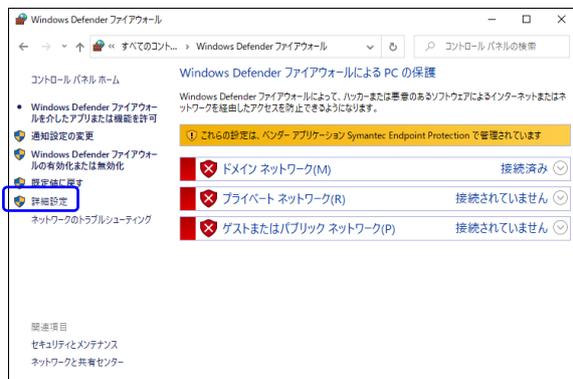


①

[コントロールパネル]→「Windows Defender ファイアウォール」を選択してください。

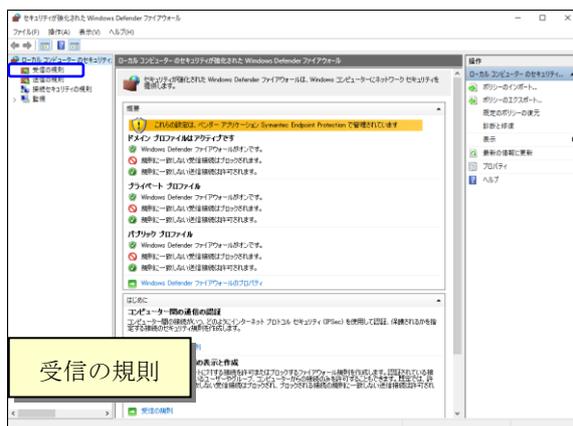
CHECK

画面右上の「表示方法」を『カテゴリ』から『大きいアイコン』または『小さいアイコン』に切り替えると「Windows Defender ファイアウォール」が表示されます。



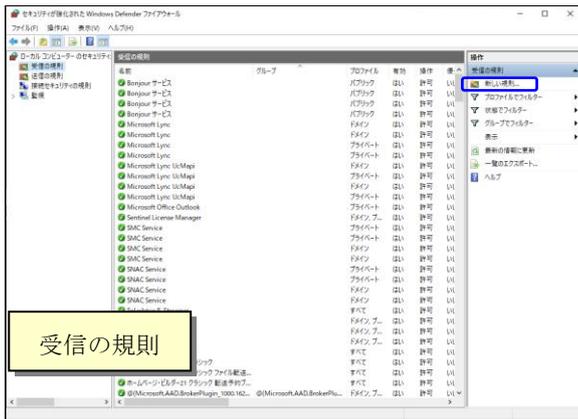
②

画面左の「詳細設定」を押してください。



③

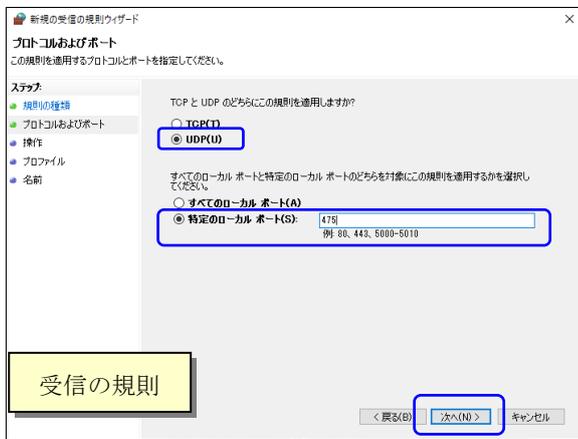
画面左の「受信の規則」を押してください。



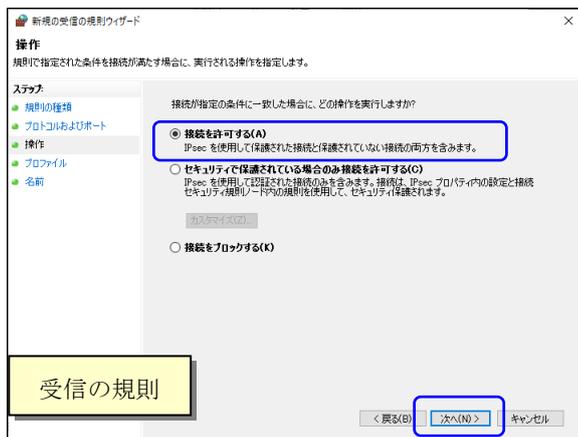
④.
画面右の「新しい規則...」を押してください。



⑤.
作成するファイアウォールの規則の種類を選択します。
「ポート(O)」を選択して、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



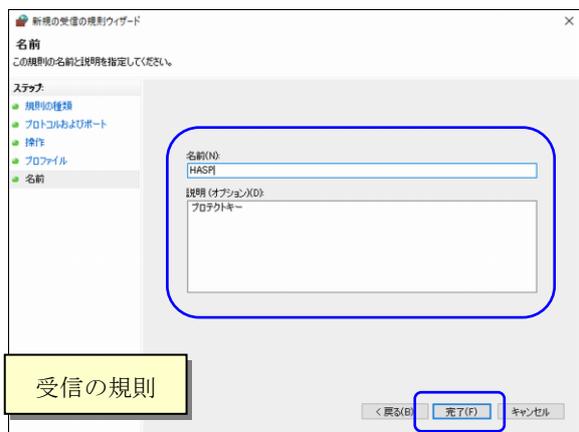
⑥.
プロトコルとポートを指定します。
プロトコル：「UDP(U)」
ポート：「特定のローカルポート(S)」
を選択して、『475』と入力し、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



⑦.
操作の実行方法を指定します。
「接続を許可する(A)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



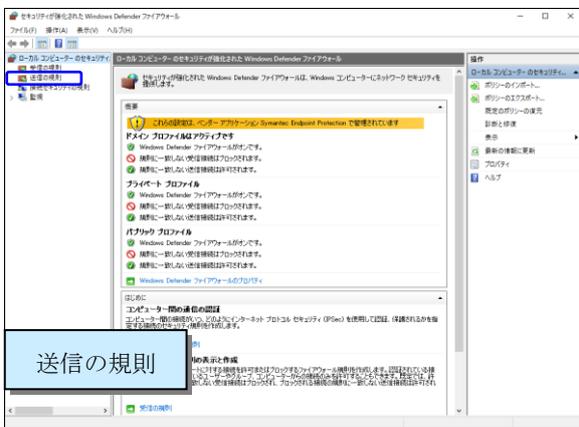
⑧.
 プロファイルを指定します。
 「次へ(N)>」 ボタンを押してください。



⑨.
 「名前(N)」「説明(オプション)(D)」に任意の名称を入力し、「完了(F)」ボタンを押してください。

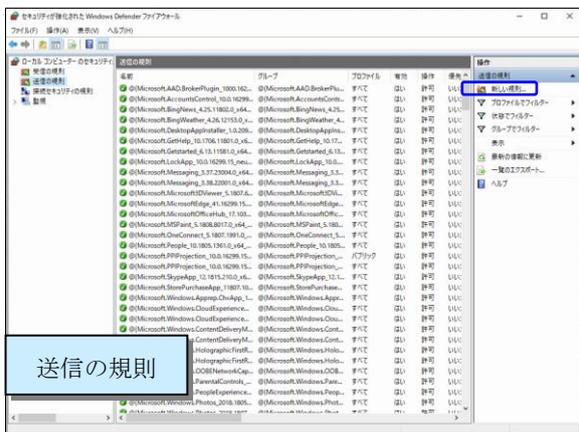
例：名前(N) = HASP
 説明(オプション)(D) = プロテクトキー

CHECK
 お使いのパソコンにウイルス対策ソフトがインストールされている場合もプロテクトキーとの通信が遮断される場合があります。その場合には、同様な作業を行ってください。



⑩.
 ③の画面に戻ります。
 画面左の「送信の規則」を押してください。

CHECK
 「受信の規則」と同様に設定を行います。

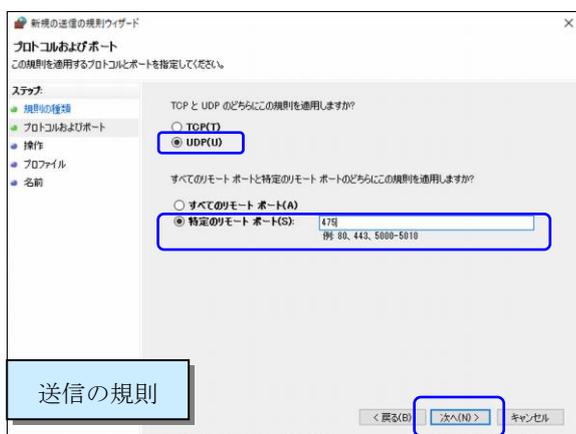


⑪.
 画面右の「新しい規則...」を押してください。



12.

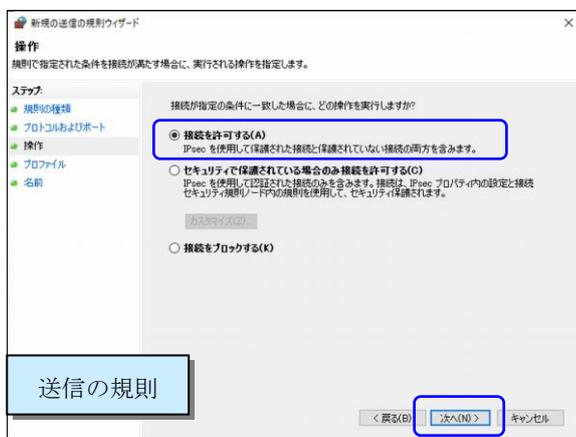
作成するファイアウォールの規則の種類を選択します。「ポート(O)」を選択して、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



13.

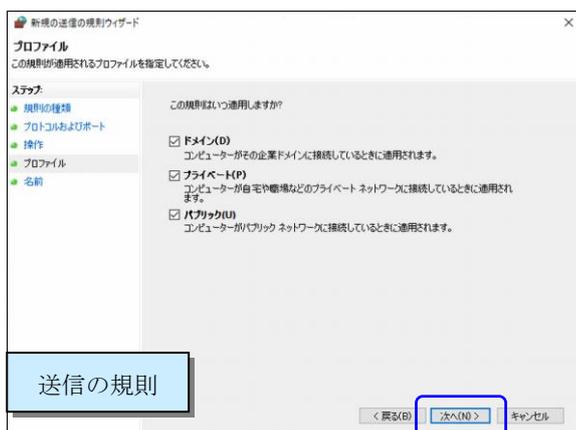
プロトコルとポートを指定します。
 プロトコル : 「UDP(U)」
 ポート : 「特定のローカルポート(S)」

を選択して、『475』と入力し、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



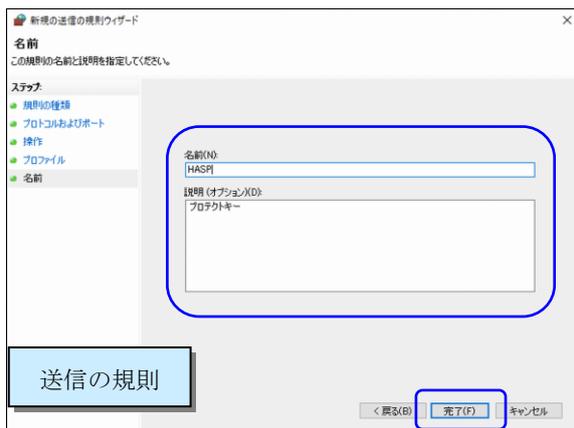
14.

操作の実行方法を指定します。「接続を許可する(A)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



15.

プロファイルを指定します。デフォルトのまま「次へ(N)>」ボタンを押してください。



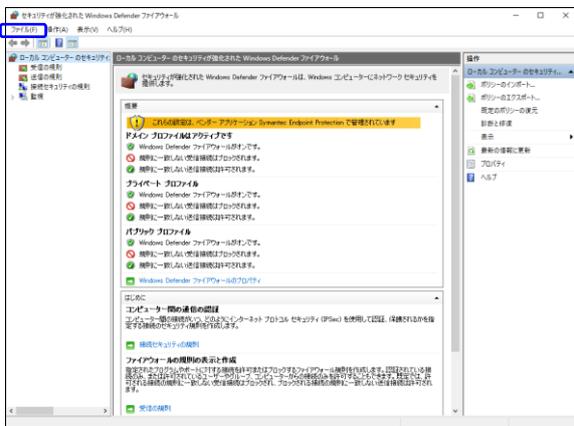
⑩.

「名前(N)」「説明(オプション)(D)」に任意の名称を入力し、「完了(F)」ボタンを押してください。

例：名前(N)=HASP
説明(オプション)(D)=プロテクトキー

CHECK

お使いのパソコンにウイルス対策ソフトがインストールされている場合もプロテクトキーとの通信が遮断される場合があります。その場合には、同様な作業を行ってください。



⑪.

③の画面に戻ります。

「ファイル(F)」の「終了(X)」を選択して終了してください。